

くすりのしおり

内服剤

2016年04月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

商品名：フルスタン錠 0.15

主成分：ファレカルシトリオール (Falecalcitriol)

剤形：白色の錠剤、直径約7mm、厚さ約3.5mm

シート記載：フルスタン錠 0.15 μ g、212、FULSTAN0.15



この薬の作用と効果について

ビタミンDの不足などによる骨の病気やその症状を改善したり、カルシウムの吸収を促進し、カルシウム不足を補ったり、骨がもろくなるのを防ぎます。

通常、維持透析下の二次性副甲状腺機能亢進症、副甲状腺機能低下症、クル病、骨軟化症の治療に用いられます。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。高リン血症がある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は<< :医療担当者記入>>
- ・維持透析下の二次性副甲状腺機能亢進症：通常、成人は1回2錠（主成分として0.3 μ g）を1日1回服用しますが、年齢・症状により適宜減量されます。必ず指示された服用方法に従ってください。
副甲状腺機能低下症、クル病、骨軟化症：通常、成人は1回2～6錠（主成分として0.3～0.9 μ g）を1日1回服用しますが、年齢・症状・病型により適宜増減されます。必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・飲み忘れた場合は、気づいたときに、1回分を飲んでください。ただし、通常飲む時間が近いときは、1回とばして、次の通常の飲む時間に1回分を飲んでください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。
- ・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。

生活上の注意

- ・カルシウム、ビタミンDを多く含む市販の栄養食品や薬を使用する際には、副作用がおきやすくなるのが考えられますので、事前に担当の医師にご相談ください。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、高カルシウム血症、かゆみなどが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・口の渇き、多尿、吐き気 [高カルシウム血症]
- ・腹部から背中や腰に激しい痛みがある、血尿、発熱 [腎結石、尿管結石]
- ・皮膚や白目が黄色くなる、体がだるい、食欲がない [肝機能障害、黄疸]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄については、薬を受け取った薬局や医療機関に相談してください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。

くすりのしおり

内服剤

2016年04月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

商品名：フルスタン錠 0.3

主成分：ファレカルシトリオール (Falecalcitriol)
剤形：白色の割線入りの錠剤、直径約 7mm、厚さ約 3.5mm
シート記載：フルスタン錠 0.3 μ g、 213、 FULSTAN0.3



この薬の作用と効果について

ビタミンDの不足などによる骨の病気やその症状を改善したり、カルシウムの吸収を促進し、カルシウム不足を補ったり、骨がもろくなるのを防ぎます。
通常、維持透析下の二次性副甲状腺機能亢進症、副甲状腺機能低下症、クル病、骨軟化症の治療に用いられます。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。高リン血症がある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・ **あなたの用法・用量は** << >> :医療担当者記入
- ・ **維持透析下の二次性副甲状腺機能亢進症：**通常、成人は1回1錠（主成分として0.3 μ g）を1日1回服用しますが、年齢・症状により適宜減量されます。必ず指示された服用方法に従ってください。
副甲状腺機能低下症、クル病、骨軟化症：通常、成人は1回1～3錠（主成分として0.3～0.9 μ g）を1日1回服用しますが、年齢・症状・病型により適宜増減されます。必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・ 飲み忘れた場合は、気づいたときに、1回分を飲んでください。ただし、通常飲む時間が近いときは、1回とばして、次の通常の飲む時間に1回分を飲んでください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。
- ・ 誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・ 医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。

生活上の注意

- ・ カルシウム、ビタミンDを多く含む市販の栄養食品や薬を使用する際には、副作用がおきやすくなるのが考えられますので、事前に担当の医師にご相談ください。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、高カルシウム血症、かゆみなどが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・ 口の渇き、多尿、吐き気 [高カルシウム血症]
- ・ 腹部から背中や腰に激しい痛みがある、血尿、発熱 [腎結石、尿管結石]
- ・ 皮膚や白目が黄色くなる、体がだるい、食欲がない [肝機能障害、黄疸]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・ 乳幼児、小児の手の届かないところで、光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・ 薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄については、薬を受け取った薬局や医療機関に相談してください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。